

水戸市議会報

令和4年

6月定例会

No.240

2022年8月1日号

納豆の消費拡大に関する 条例を制定

- 可決した議案 3
- 代表質問 3～6
- 一般質問 6～10
- 常任委員会報告 11



納豆の消費拡大に関する条例を可決しました。本条例は、納豆の積極的な消費拡大を図ることで、市内産業の活性化や市民の健康増進を目指しています。また、7月10日を納豆の日とし、PR等の取組を特に推進することとしました。

定例会あらまし



会期

6月6日から21日までの16日間

議員質問

- ・代表質問6名
- ・(3~6ページ参照)
- ・一般質問17名
- ・(6~10ページ参照)

委員会付託議案

- (1)各常任委員会における市長提出議案及び議員提出議案の審査
- (2)各常任委員長による委員会審査の経過並びに結果の報告
- (11ページ参照)

- (3)討論 反対1名
- (4)採決 原案のとおり可決、承認

意見書

- ・議員提出の意見書2件を可決
- (10ページ参照)

陳情

- (1)文教福祉委員長による陳情審査結果の報告
- (2)令和4年陳情第3号を採択
- (10ページ参照)
- (3)陳情の閉会中継続審査を決定



本会議の様子

閉会中所管事務調査

- ・各常任委員会等の閉会中所管事務調査を決定

議員辞職

- ・小泉康二議員から提出された6月30日限りでの議員辞職願を許可

永年勤続議員

表彰及び感謝状

全国及び茨城県の市議会議長会から、6名の議員が永年勤続議員として表彰されました。
また、全国市議会議長会から、理事及び国会対策委員会委員を務めたことに対し、議長に感謝状が贈られました。

《表彰》

全国・茨城県市議会議長会
議員在職35年以上
中庭 次男

全国・茨城県市議会議長会
議員在職15年以上
栗原 文隆

飯田 正美

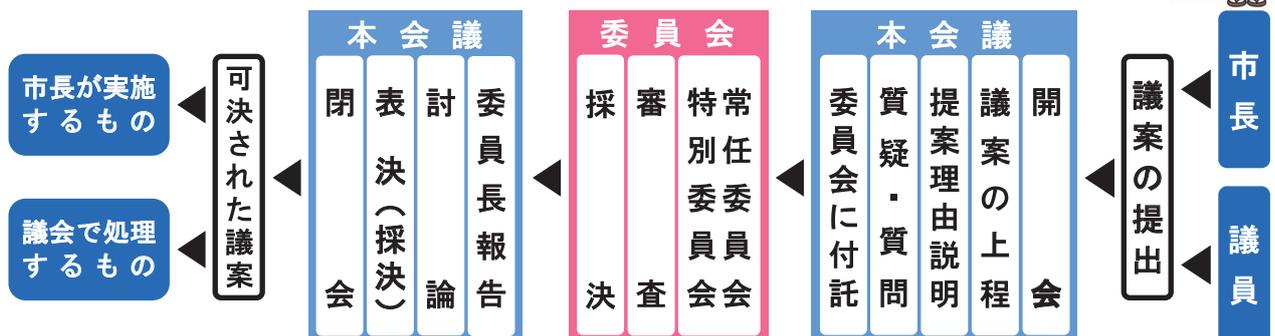
全国市議会議長会
議員在職10年以上
大津 亮一

小川 勝夫
小泉 康二

《感謝状》

全国市議会議長会理事
全国市議会議長会
国会対策委員会委員
須田 浩和

議案審査の流れを紹介します



可決した議案



今定例会会で可決した主な議案を紹介します。

市長提出議案	計	19件
令和4年度補正予算	1件	
条例の改正	5件	
その他	13件	

市税条例等の一部改正

個人市民税の住宅借入金等特別税額控除に係る適用期限の延長をはじめ、各税目において国の税制改正を踏まえた規定の整備を行うもの

老人福祉センター条例の一部改正

現在建設中である(仮称)西園いきいき交流センターについて、施設名称を「水戸市いきいき交流センターあかしあ」と定めるとともに、実施事業や使用料等に係る規定の整備を行うもの

工事請負契約の締結

都市計画道路3・3・2号中大野中河内線の橋梁製作工事及び水戸駅北口エレベーター改築工事の請負契約をそれぞれ締結するもの

令和4年度一般会計補正予算(3号)

- ◆補正総額 8億1170万円増
- ・低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金
- ・物価高騰に対応した安定的な学校給食の提供
- ・物価高騰に対応した安定的な幼稚園・保育所等給食の提供・支援
- ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金
- ・公共交通運行事業者緊急支援
- ・資源物・ごみ収集運搬事業者緊急支援
- ・尿・浄化槽汚泥収集運搬事業者緊急支援
- ・農業担い手緊急支援
- ・道路貨物運送事業者緊急支援
- ・ものづくり事業者緊急支援

議員提出議案

1件

納豆の消費拡大に関する条例

納豆の積極的な消費拡大を図ることで、市内産業の活性化及び市民の健康の増進に寄与することを目的とし、新たに制定するもの



代表質問

公明党水戸市議会



地方創生臨時交付金を活用した緊急対策の内容は

活用した緊急対策の内容は

Q 円安やウクライナ危機等による原油、原材料の価格高騰を受け、国

は総合緊急対策に、自治体が独自に活用できる地方創生臨時交付金を盛り込んだ。今定例会では緊急対策の補正予算が提案されており、その内容等について伺いたい。また、一日も早く対象者に支援を届けるための取組を伺いたい。

A 生活者支援として、非課税世帯等

への給付金の支給を進め、一時的な生計維持困難者への支援金給付を継続する。低所得子育て世帯への市独自の5万円上乗せ給付や幼保小中等への給食公費負担の大幅拡充等も行っている。また、路線バス、タクシー、道路貨物運送等



高騰が続く原油や原材料

芸術文化を生かした

まちづくりの推進を

の各事業者への緊急支援、農業経営者やものづくり事業者への支援も行う。議決後、速やかに対策を実行し、一日でも早く各種支援が届くよう努める。

Q 来年7月の新市民会館の開館に伴

い、芸術文化を生かしたまちづくりの推進が一層重要な課題となるものと考えられる。また、昨年策定した芸術文化振興ビジョンの具体化に向け、より積極的かつ戦略的な取組が必要と感じている。(1)次期総合計画において芸術文化のまちづくりを重点施策に位置付けるとともに、推進体制等の強化を図るべきと考える。(2)ビジョンに掲げる、「芸術文化を創造するまち」を目指すことについて都市宣言を行い、市内外に市の姿勢を明確にすべきである。見解を伺いたい。

A (1)芸術文化の振興を大きな柱とし

て積極的に位置付け、その推進体制についても検討する。(2)市の芸術文化の発展や施策の展開との整合性を意識しながら、市民の機運醸成や議会の合意形成を図り、しかるべきタイミングで判断する。

その他の質問

- 若年層へのフロンテック接種と4回目接種の体制は
- 幼保小中等におけるマスク着用の考え方は
- 激甚化する豪雨災害に関する防災対策は
- DX推進計画の策定と取組状況は
- マイナンバーカード普及促進の取組と活用方法は



魁, 水戸



多様性を重んじる教育と
家庭教育を充実させる取組は

Q (1)不登校の児童生徒をどのように支え、社会につなげるかを考えることは喫緊の課題であり、多様な居場所づくりが求められている。不登校特例校等に対する見解を伺いたい。(2)学習障害を抱える児童生徒への配慮として学習方法の多様化が求められる。通級指導教室の拡充に対する見解を伺いたい。(3)共働きで家庭教育に時間を割けない世帯が多くなっており、各家庭への働きかけが大切と考える。市の取組とその効果を伺いたい。

A (1)特例校の先進事例を調査するとともに、フリースクール等を選ぶ際の目安となる要件をより明確に示すガイドラインを作成する。(2)保護者のニーズを踏まえ、中学校での開設に向けて県への要望を進める。(3)訪問型家庭教育支援事業では、保護者への助言等で子ども

の生活状況が改善した例もあった。

女性特有のがんの検診に係る

無料クーポン券の配布を

Q コロナ禍によりがん検診の受診控えが生じており、がんの発見が遅れることで患者の命へのリスクが

増すことを危惧する。特に、女性特有の乳がんや子宮頸がんは働き盛りの時期や子育て等で自分の時間を持ってない時期に好発するため、早期発見に向けた継続的な受診勧奨が必要である。女性が妊娠を諦めることや幼子に悲しい思いをさせる事態を防ぐため、市独自の取組として再度の無料クーポン券配布を提案する。見解を伺いたい。

A これまでの検診開始時の無料クーポン券の配布に加え、がんの好発年齢※1期においても配布することで更なる受診のきっかけづくりとする。さらに、次回検診時に個人通知による受診勧奨をすることで受診の習慣化を図り、女性特有のがんについて、二段構えの受診促進策を新たに構築していく。



受診券と無料クーポン券(見本)

その他の質問

- 市政3期にわたる成果と今後への意気込みは
- 部活動指導の在り方と地域移行に対する見解は
- これまでの少子化対策への評価と今後の取組は
- 農業の担い手の育成・確保に向けた取組は
- 地産地消を推進する取組と食料自給率向上策は

誠和会



ふるさと納税の現状と
更なる寄附額増加の推進策は

Q 4大プロジェクトの最後の事業となる新市民会館が今年度完成する。今後は節度ある財政運営を基本に歳出抑制と歳入確保に努め、確実に財政状況の改善を進めることが重要である。ふるさと納税は本市市民の他市への寄附額が本市への寄附額を上回り、差し引き赤字が生じていると聞いている。貴重な財源確保とともに市内産業の活性化や観光振興等、更なる寄附額増加のための取組が急務である。現状と今後の推進策を伺いたい。

A 謝礼品の充実や専用ポータルサイトの拡充を図りながら寄附額の増加に取り組んでおり、令和3年度は前年度比で2割以上の増加を見



ふるさと納税の謝礼品

込んでいる。引き続き特産品の生産者や協働事業者、市内大学と連携し、謝礼品の新規開拓等を進め、あらゆる機会にPR活動を展開して更なる寄附額の増加に取り組む。

農業経営を圧迫する

肥料価格高騰への対応は

Q ウクライナ情勢を受け、農業現場では全ての生産資材の価格高騰が今夏最大の懸案事項となっている。特に肥料価格は最大約2倍になる

とも言われ、昨年度の米価の大幅下落に続き、農家は非常な経営圧迫にさらされている。現在、国では支援制度の創設を検討中であり、県でも対策を講じるとの報道を聞いている。世界情勢の安定化が見通せない中、農業経営を圧迫する肥料価格の高騰への対応について伺いたい。

A 肥料メーカーが代替国から原料調達する際のコスト上昇分の補助や、農家への負担軽減策の検討を国で開始したと聞いている。本市においてもこれまで様々な生産資材の価格が上昇し、農業経営を圧迫していることから、市独自の取組として農業担い手支援の補正予算を今定例会に提案した。

その他の質問

- 市の財政状況と今後の財政運営は
- 子ども・子育て政策の現状と課題認識は
- 中核市としてのみどりの食料システム戦略は
- 学校施設の地域利用の考え方は
- 教職員への学校敷地内駐車使用料の徴収を

※1 好発年齢…ある疾病にかかりやすい、または起こしやすい年齢層のこと。子宮頸がんは30歳～40歳代、乳がんは40歳～60歳が好発年齢とされている。

水政会

栗原文隆

つくばエクスプレス(TX)の水戸延伸に向けた活動状況は

Q TXは開通以来、沿線地域が著しい発展を遂げており、その延伸に大きな期待が寄せられてきた。県は水戸・茨城空港・土浦・筑波山方面の4案のうち、県総合計画に位置付けるTX延伸案を年度内に一本化するとしており、これを受けて本市は関係市町等とともにTX水戸・茨城空港延伸促進協議会を設立し、誘致を進めているところである。協議会設立の経緯や活動状況を伺いたい。

A 茨城空港を経由してつくば市と本市をTXで結ぶことが、県全体を持続的かつ均衡的に発展させる上で極めて有効な手段であると考えている。関係市町の首長と協議を重ね、各種団体等にも参画をいただいで協議会を設立した。延伸の実現に向け、のぼり旗等による啓発活動や知事への要望、署名活動に重点的に取り組んでいる。

都市計画道路3・3・2号線
酒門工区の早期整備を

Q 県が整備を進める酒門工区では、2月に百樹園付近(県道中石崎水戸線の区間)で供用を開始した。一

方で、百樹園付近(国道6号の区間は幅員が狭く、多くの車両の通行や登下校の児童生徒の往来など、大変危険な状況となっており、早期整備が必要と考える。更なる利便性の確保のため、国道6号までの区間や一般廃棄物第一最終処分場跡地付近までの整備を望むところであり、整備方針と見通しについて伺いたい。

A 国道6号を平面交差した後、処分場跡地付近の市道上大野9号線までの区間を、今後、県施工で整備する。県道中石崎水戸線の交差点(国道6号手前の区間)については今年度の完成に向け整備を進めていく。次年度以降も県で交差点改良や用地取得を進めると聞いており、引き続き県と協力、連携する。



開通式(百樹園付近～県道中石崎水戸線)

その他の質問
○TX延伸の決定・事業化までのプロセスは
○一般廃棄物第一最終処分場跡地の整備内容は
○浸水対策事業の進捗と整備方針は
○水戸南(一)以南の酒門地区における雨水排水計画は
○酒門町交差点立体化事業の状況と整備計画は

日本共産党水戸市議団

中庭次男

新市民会館建設事業は
根本的に見直しを

Q (1)新市民会館建設地は施設の大きさに対して狭く、大型トラックによる機材の搬入等は困難と思われる。また、運営ができると思えない。また、施設西側の車寄せはバス2台分だけで、交通渋滞が起きることは一目瞭然である。立地の検討がずさんであったことが原因と考えるが、県警との協議記録を全面開示する考えはないのか。(2)市は年間60万人来客の目標を掲げているが、その根拠は何か。(3)当該事業は市長の裁量権を逸脱したものであり、見直しを求める。

A (1)情報公開・個人情報保護審査会からの答申を踏まえ、一部は追加で開示していることから、適切な対応と考える。(2)旧市民会館の年間利用者数、会議室等の稼働率、類似施設の状況等を勘案し、設定した。(3)令和5年7月の開館に向け、万全の準備を進めていく。

物価高騰から市民の暮らしを守る
支援等の実施を

Q (1)物価高騰が急速に進み、市民の暮らしに深刻な影響をもたらしている。このような状況の中で子育て

て世帯における学校給食費の負担は重く、子どもが2人いる世帯では年間約10万円もかかる。県内では、神栖市や城里町等が学校給食費を無償化しており、本市でも実施する考えはないのか。(2)障害者や高齢者の福祉施設等でも大きな影響を受けており、緊急の支援を実施すべきと考えるがどうか。

A (1)今般の物価高騰分について公費で負担することとし、食料料費の当初予算の約10%に相当する1億円の補正予算を今定例会に提案した。(2)コロナ禍における障害者・高齢者施設のサービスマン継続への支援については、これまでも県と市で実施してきた。今後、国の次なる交付金等の動向を見極めた上で、事業者の負担軽減策を検討する。



学校給食

その他の質問
○生活保護行政について
・申請について広く周知するポスター等の掲示を
・申請をためらわせる扶養照会廃止を
・熱中症対策として夏場の電気代補助の実施を
○東海第一原発の再稼働反対、廃炉の表明を



フォーラム水戸

飯田 正美

東海第二発電所に係る 事前了解権と再稼働の見解は

Q 市長はこれまで、事前了解権として本市を含む周辺6市村の同意がなければ再稼働に進むことはできないという方針を示し、また、商業用としての稼働だけではなく、検査の一環だとしても、燃料装荷や原子炉の稼働を伴うものは再稼働として捉えたと発言している。日本原電は、東海第二発電所における安全対策工事の完成見込みを令和6年9月に変更したが、この計画変更後においても市長の考えに変更はないか。再確認の意味を含め、見解を伺いたい。

A 事前了解権と再稼働の時期に関して日本原電と交わした取り決めについては、当然将来にわたって守られるものであり、発電所の計画や体制がいかに変わろうとも反故にすることは許されないものと認識している。

県道玉里水戸線の 道路拡幅に向けた進捗は

Q 国道50号からJR常磐線を地下で立体交差し、赤塚中学校方面へ延伸する都市計画道路3・4・149号赤塚駅西線の供用開始により、

県道玉里水戸線はこれまで以上に交通量が増え、通学路として事故の発生が懸念される。現在、水戸地方事務局において河和田1丁目外地図作成作業が進められていることから、県では昨年度、事前準備作業として予備設計を実施した。できるだけ早期に道路拡幅ができるよう県と協議を進めてもらいたいと考えており、進捗状況等を伺いたい。

A 県は整備の必要性を十分認識しているものの、事業化に向けては他の県道における整備の進捗状況も見極める必要があると聞いています。引き続き、拡幅整備の早期着手に向け、県に対して強く要望し、安全で快適な道路環境の整備に取り組む。



県道玉里水戸線(赤塚中学校前)

その他の質問

- 洪水浸水想定区域内開発行為の変更内容は
- 新型コロナウイルス感染症拡大の現状認識は
- 臨時休業等のオンライン授業の実施状況は
- 中核市移行に伴う行政経営経費の状況は
- 都市計画道路赤塚駅西線の完成時期は

▼一般質問

大手門広場への飲食・物販店の誘致と 三階櫓再建に向けての調査を

萩谷 一真

Q (1)水戸城跡周辺が整備されたが、景観整備だけでは来訪者を満足させるのは難しく、飲食ができ、土産物が見えるお店が必要との声が多く寄せられている。大手門広場周辺は十分にスペースもあるため、飲食・物販店の誘致を検討すべきと考えるがどうか。(2)二の丸角櫓へのアプローチ通路は、水戸城の天守閣とも目される三階櫓跡のすゝ脇を通過している。再建を願う市民の声もあるため、その可能性を検討する調査を第7次総合計画に位置付けてはどうか。

A (1)文教施設や歴史的資源が集積する地区で、費用対効果などの課題もある。地元住民や観光客の意見、ニーズの把握・分析に努める。(2)一連の歴史的建造物の復元事業は完了した。当面は現状の復元建造物の利活用に注力する。



水戸城三階櫓

その他の質問

- 命に関わる情報は公式LINEで送信を
- 図書館を核にした県庁周辺のまちづくりを
- 新市民会館と水戸芸術館の相乗効果の根拠は

水戸芸術館の駐車場における バリアフリー化を

滑川 友理

Q 現代社会ではバリアフリーやユニバーサルデザインを求める声が多くなっているが、水戸芸術館には地下駐車場から館内に移動する際に利用者が自由に使用できるエレベーターがない。施設脇には車椅子マークの書かれた専用駐車場があるが、現在は工事中であることから、地下駐車場に身障者用の駐車場が設けられている。しかし、事前予約が必要なこと、係員への声かけが必要なことなど、多くのハードルが存在している。これはベビーカーを使用する方も同様となっている。地下駐車場から館内に移動するためのエレベーターの設置や、平面駐車場への屋根の設置など、誰もが利用しやすくなるよう改善を要望する。

A 近接する駐車場の状況等も踏まえながら、総合的に検討していく。



身体障害者専用駐車場(水戸芸術館地下)

その他の質問

- 小中学校体育館へのエアコンの設置状況は
- エアコン設置の予算確保に向け国県と交渉しては
- 夏場に災害が発生した場合の避難所運営の方針は

ミトリオ※2に懸ける 中心市街地再生のプログラムは

渡辺政明

Q 新市民会館の来年7月の供用開始に向け、新市民会館建設や周辺整備への投資に見合う本市の事前PR活動が強く求められている。新市民会館やミトリオなどの魅力や個性の発信、施設の紹介や利用方法などのPRの取組をどのように行うのか。見解を伺いたい。

A 新市民会館については、関係団体と連携するとともに指定管理者を指導監督し、魅力的な施設HPや分かりやすいパンフレットの作成など、多様な広報媒体によるPRに市主体で速やかに取り組む。ミトリオについては、新市民会館周辺にぎわい推進協議会で活用策を検討している。行事等の情報共有やミトリオの個性・魅力にあわせた戦略的・効果的な発信など、引き続き、市主体でにぎわい創出に全力で取り組む。



建設中の新市民会館(泉町1丁目)

その他の質問

- 第2次中心市街地活性化基本計画の展開は
- 横山大観氏作品のミトリオへの常時展示を
- 水府大提灯等の新市民会館への展示を

デジタル障害者手帳を導入し 利便性の向上を図るべき

黒木勇

Q デジタル障害者手帳アプリ「ミライロード」は、障害者手帳を登録し、その画面を提示することでスムーズに障害者割引料金の適用が受けられる仕組みとなっている。また、政府は「マイナポータルAPI」の提供を開始し、その民間活用第1号としてミライロードと連携するとしている。デジタル障害者手帳を導入し、紙様式の手帳を持ち歩くことなくスマートフォンアプリ画面で市内公共サービスを適用するなど、障害者手帳の利便性向上を図るべきと考えるがどうか。

A 各種の障害者割引料金の適用等を受けるに当たり、施設や窓口において障害者手帳の提示を求めている。議員提案のミライロードの活用については、本人確認の簡素化や障害者の利便性向上が図られることから、早期に実施していく。



デジタル障害者手帳アプリ「ミライロID」

その他の質問

- 更新が必要な障害者手帳の更新日の事前通知を
- 学校でのAEDを含む心肺蘇生法実習の導入は
- AED設置場所の周知とパイスタンダーの育成を

市独自のリトルベビー ハンドブックの作成配布を

鈴木宣子

Q 現在市が配布している母子手帳は、折れ線グラフで身長・体重を記録する欄が身長40cm、体重1kgからの目盛りとなっている。赤ちゃんが小さく生まれたために成長を記録できなかったという声も聞いている。そうした赤ちゃんの成長を記録でき、心配な病気のQ&Aや助言、医療助成制度等の情報を載せた冊子「リトルベビーハンドブック」を市独自に作成し、配布してはどうか。見解を伺いたい。

A 静岡県や福岡県等においてハンドブックが作成され活用されていると聞いている。先行自治体の取組を参考にしながら、今年度中に本版ハンドブックを作成する。今後低出生体重児を持つ保護者が孤立することなく安心して子育てができるよう、きめ細かな支援に積極的に取り組む。



リトルベビーハンドブック(静岡県)

その他の質問

- 避難所指定の学校体育館にエアコン設置を
- 避難支援者保険の導入に対する見解は
- 困難女性支援法成立を受けた今後の取組は

糖尿病の重症化を予防する 市の取組は

五十嵐博

Q 糖尿病は、重症化すると網膜症や腎症等の合併症を引き起こし、患者の生活の質を著しく低下させる。加えて、糖尿病患者は新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高いことも明らかになっている。また、治療が人工透析まで移行すると経済的負担も大きくなるため、対策は急務と考える。市の糖尿病重症化予防事業における対象者数と重症化予防の取組を伺いたい。

A 対象者数は、令和元年度が263名、2年度が118名、3年度が230名であった。コロナ禍でも家庭訪問等で受診勧奨を続けたが、医療機関への受診が確認できたのは約4割にとどまった。今年度から新たに治療中断者に保健師が訪問指導するなど、アプローチを強化することでスピード感を持って医療機関への受診とつなげる。



糖尿病重症化予防に取り組む市保健所

その他の質問

- 幹線市道25号線の歩道拡幅に向けた整備進捗は
- 老朽化が進む市営花畑住宅の今後の管理方針は

※2 ミトリオ(MitoriO)…新市民会館、水戸芸術館、京成百貨店の一体的なエリアの愛称。



遠距離通学児童に対する 通学費用の支援を

佐藤 昭雄

Q 学区内であっても、特に低学年の児童にとっては徒歩通学が困難な地域や危険な箇所があることで、やむを得ず路線バス等で通学をしている児童がいる。子どもの発達段階や通学の安全確保、交通手段等を考慮した上で、遠距離通学の児童に費用補助などを支援すべきである。見解を伺いたい。

A 山根小学校の双葉台小学校への統合に伴い、スクールバスを運行しており、旧山根小学校区の児童16名が利用している。また、路線バス利用の児童は約300名である。バス路線網の関係上、遠距離通学にも関わらず、徒歩通学を余儀なくされている児童がいることから、遠距離通学児童への通学定期代等の補助については、整理しなければならぬ課題もあり、十分に検討する。



スクールバス(双葉台小学校)

その他の質問

- 通学路の安全確保について
- ・通学路交通安全プログラムの現況と課題は
- ・児童への交通安全指導の強化を

高齢者等への ごみ収集支援の実施を

中野 眞己

Q 高齢者や障害を持つ方から、ごみ出しが難しいとの相談が寄せられている。環境省の調査では昨年1月時点で全国の35%にあたる417の自治体でごみ出し支援が行われている。個別にごみを回収して清掃センターに運ぶ方法や、支援団体への補助金支給等の方法がある。首都圏(1都6県)の県庁所在地でも、本市を除く全ての都市でごみ出し支援制度を導入しており、速やかな実施を求めるがどうか。

A 本市では要支援認定を受けた高齢者へのごみ出し等の生活支援を行う団体に補助金を交付している。市民やボランティア団体で「高齢者等へのごみ出し支援について考える会議」を開催した。会議の意見や他自治体を参考に課題を整理する。財政負担や人員確保など関係課と連携を図り、調査研究を行う。



高齢者のごみ出しの様子

その他の質問

- 水戸駅南地区の道路のバリアフリー化を
- リウマチ患者への支援実施と難病患者への見舞金増額を
- 県が推進する水道ビジョン(1県1水道)には不参加を

市民協働の考え方と 行政が真になすべきことは

田口 文明

Q (1)ロシアのウクライナ侵略は対岸の火事ではなく、到底見過ごすことはできない。日本が武力攻撃を受けたときに対応できるよう平素から備えておく必要がある。国民保護計画について見解を伺いたい。(2)社会の変化に伴い、町内会・自治会の存在意義が低下している。根本から見直すべきである。(3)町内会の退会者が増加し、防犯灯の維持管理が困難になっている。夜道の安全確保のため、市が責任を持つて費用を負担すべきである。

A (1)平成19年に策定した計画の改定に取り組んでおり、市民への情報伝達や避難誘導など、各種取組の強化に向け、最大限の対策を講じる。(2)水住協※にて加入勧誘を行う仕組みを整えた。退会抑制と加入促進に取り組む。(3)地域の協力を得ながら現制度を継続する。



防犯灯

その他の質問

- 市報の今後の在り方や配布方法等に対する見解は

赤塚駅西線整備の 総事業費と完了時期は

福島 辰三

Q 赤塚駅西線(都市計画道路3・4・149号)の整備事業は、赤塚駅周辺地区の南北一体化を図り、交通機能を飛躍的に向上させ、副都心として本市の更なる発展に寄与するものである。当該道路整備は地域住民の協力を得て今日まで進められ、一日も早い開通が待たれる。これまでも繰り返し工事の進捗状況を確認してきたが、改めて総事業費と完了時期を伺いたい。

A 現在、河和田2丁目地内においてJR常磐線のアンダーパス部南側から現道への接続道路として、U型擁壁を築造している。また、冠水対策として自動冠水表示板及び自動通報システムの構築等も実施している。総事業費はJR協定工事を含め38億2千万円となっており、令和4年12月の供用開始を目指し、事業を推進する。



都市計画道路 3・4・149号赤塚駅西線

その他の質問

- 都市計画道路3・3・30号赤塚駅水府橋線について
- ・堀2工区における工事の進捗状況は
- ・今後の整備計画と開通予定時期は

※3 水住協…水戸市住みよいまちづくり推進協議会

成年年齢引き下げに伴う 若者の消費者被害対策は

森慶正

Q 成年年齢が20歳から18歳に引き下げられ、親権者の同意なしに様々な契約が18歳から可能となった。親権者の同意のない契約は、未成年者取消権により取り消すことができるが、今後、その対象から外れる若者世代を狙った消費者被害やトラブルの増加が懸念されている。若者の消費者被害対策を強化していくべきと考えており、見解を伺いたい。

A 中学校3年生に対して市独自の啓発チラシを配布し、18歳で成年になることを早期に意識付けしている。また、「広報みと」の特集記事での啓発や、高校生が参加する講演会の開催等により、学ぶ機会の提供に努めている。今後も成年年齢引き下げについて考える機会をつくるとともに、SNSを活用した情報発信に努めていく。



若者向けの消費に関するパンフレット

その他の質問

- 市立図書館及び学校図書館の更なる利便性向上を
- NIE教育(新聞を教材にした取組)の推進を
- 登下校の見守り体制強化と通学路への防犯カメラ設置を

学校プール廃止方針の 撤回を

土田美代

Q 市は小学校プールを廃止する方針と、順次学校外プールで水泳授業を行うスケジュールを突然発表し、今年度から強行している。夏のプール授業は子どもたちの楽しみでもあると同時に大切な命を守る教育である。まず水の冷たさを知り、水に親しむこと、そして自然との共存共生活を学ぶことが重要で、それらは屋内の温水プールでは得られない学習体験である。また、市には歴史的にもプール学習を大切にしてきた伝統がある。自校プールの改修や改築こそ進め、各スクールで行う水泳授業を堅持すべきと考えるがどうか。

A 気候や天候に左右されない屋内プールを活用することで計画的に授業ができる。今後は学校外プール施設の効果的な活用により、授業の充実が図られるものと考えている。



プール開放事業も行う新荘小プール

その他の質問

- 高速増殖炉「常陽」再稼働には厳しい対応を
- 民間施設プール利用によるデメリットは
- 新市民会館は運営を含め事業見直しを

放課後学級支援員の負担軽減策と 教室及び支援員不足への対応は

引健 綿

Q 本市では、数年前から民間事業者を放課後事業に参入させ施設数の拡大を図ってきたが、量だけでなく質の確保も求められている。このような中、昨年、コロナ禍による学校の臨時休業期間が長期化したことで、放課後学級の現場に大きな負担がかかり、支援員の方から改善を求める声があった。(1)放課後学級における支援員の負担軽減策と、(2)使用教室及び支援員不足への対応について伺いたい。

A (1)訪問指導員による定期訪問等を通して現場の支援員の声を聞き、働きやすい環境づくりに努めている。(2)利用児童の多い時間帯等では、校庭での活動や学校の余裕教室の活用など工夫している。また、支援員募集の案内を「広報みと」や市HPに掲載するなど、事業者が円滑に運営できるよう協力する。



放課後学級

その他の質問

- 放課後学級の民間委託による成果と課題は
- 入級希望者数、利用児童数及び定員数の現状は
- 入級ができない児童への対応は

米粉の利用拡大推進に 向けた取組状況は

田口 威

Q 価格高騰が続く小麦の代替として米を製粉した「米粉」が注目されている。しかし、県内に製粉工場がないことや、小麦粉を使った場合と味・食感が異なるため普及に時間が必要などの課題がある。市ではふるさと納税の謝礼品や学校給食のパン等に米粉を使用しており、更なる利用拡大を推進すべきと考えられる。また、関係機関と連携して製粉工場の整備も進めるべきである。取組状況を伺いたい。

A 今年度の米粉用米の取組は約3haである。飲食店等での消費増加が重要と考えており、意欲的な飲食店や菓子店等に米粉を提供し、メニュー開発の支援や販路拡大に取り組む。関係機関と連携し、米粉の需要や国の支援制度を注視しながら、農家の所得安定に向けた施策の展開を図る。



学校給食(米粉パン)

その他の質問

- 所有者不明土地の対応策は
- 市内農産物の輸出の現状と促進策は
- 農業集落排水事業の今後の方向性は



花火大会への桟敷席新設とDC※4での戦略的観光PRを
 こいすま 小泉二 康

Q (1) 今回の水戸偕楽園花火大会で桟敷席を新設すると聞いた。千波湖北側のエリアに桟敷席を設置し、その収入をコロナ対策や観光満足度向上のための取組に活用してはどうか。(2) DCが来年10〜12月に本県で開催される。ポストコロナを見据えた観光振興の絶好の機会と考えており、県や周辺市町村と連携して取り組んではどうか。見解を伺いたい。

A (1) 設置に向けて県と協議中であり、場所や席数、料金は決まり次第速やかに周知する。コロナ対策を行い、地元の食とあわせて花火を楽しんでいただき満足度向上につなげたいと考える。(2) 県の実施方針に即した取組を展開する。本市の魅力の積極的な発信や周辺市町村、観光関連事業者等との連携を図り、総力を上げて取り組む。



水戸偕楽園花火大会

その他の質問

- 歯科医師会と連携し歯科保健計画の推進を
- ツインフィールドへの横断歩道や照明等設置を
- 飯富小中学校の一体的な整備検討の状況は

教職員の学校への無料駐車は特別扱いではないか
 まもと 本松久 勝

Q 市内の小中学校に勤務する市の職員等は、車で通勤する場合、駐車場使用料として毎月2000円を徴収されている。一方で、県で給与を負担している教職員は、駐車場使用料が免除されており、公平性の観点から問題であると考え。市内48校、約1500人の教職員から徴収すれば、年間3600万円の財源確保につながるがどうか。

A 県の自家用車の公務利用に関する取扱要項に基づき、個人所有車両について公用車指定がなされていることを理由に免除としてきた。徴収開始から15年が経過し、職員間の公平性の観点から、改めて教職員からの使用料徴収について検討を進めてきた。今後、行政財産を駐車場として使用する場合の使用料について、徴収することとして、関係機関と協議していく。



学校駐車場

その他の質問

- 最新の町内会・自治会の加入率は
- みと町内会・自治会カード事業の改善努力を
- 店舗における割引など魅力あるサービスの創出を

水戸納豆の消費拡大と納豆用大豆の生産支援を
 はかまつか 袴塚孝 雄

Q 納豆は本市を代表する特産品であり、地産地消の推進とあわせて消費拡大が今後の重要課題である。水戸納豆のブランド力の更なる向上と消費量の増加に向け、納豆用大豆を水田での転作作物として市独自に支援し、水戸産大豆によるおいしい納豆づくりに取り組むべきと考える。以前も提案したが、その後の検討状況を伺いたい。

A わら納豆を優良観光土産品に指定し、納豆商工業協同組合等とも連携して納豆のまちとしてのイメージアップを推進してきた。今年度新たに、市ふるさと農場にて納豆用大豆を栽培し、収穫後に納豆に加工する体験イベントも実施する。議員提案については、引き続き、大豆生産者の拡大意向や納豆事業者の意向も踏まえながら、支援の在り方について検討する。



納豆の販売促進の取組(水戸駅)

その他の質問

- 子どもを子育てしやすい環境の更なる充実を
- SDGsの達成に向けた市民と行政の役割は
- 多くの市民が喜び新市民会館オープンイベントを

可決した意見書



議員提出議案として、次の意見書を可決しました。

- 1 地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書
- 2 カーボンニュートラル※5達成に向けた学校施設のZEB※6化及び環境教育のさらなる推進を求める意見書

陳情の結果



【採択】

○令和4年陳情第3号 水戸市立小学校放課後学級の定員の大幅増加を求める陳情

本陳情については、願意に沿うよう努力されたいとの意見を付して市長に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきものと審査決定した。

※4 DC…デスティネーションキャンペーンの略。JRと指定された地域(県・市町村・地元観光事業者等)が一体となって実施する大型観光キャンペーンのこと。

文教福祉委員会



令和4年度一般会計補正予算 (文教福祉委員会所管分)

主な質疑 生活困窮者自立支援金のこれまでの支給実績、生活支援特別給付金の支給方法、給食に係る補正予算の積算根拠、民間及び公立施設における給食費の取扱い、食材料費の現状及び仕入れの管理など。

主な意見 (1)生活困窮者に対する支援については、制度の周知徹底を図られたい。(2)物価高騰の中にあっても、給食費を値上げすることなく、子どもたちに栄養バランスの取れた給食を引き続き提供できるよう鋭意取り組まれたい。(3)教育・保育現場における給食の実態把握に努め、安定的な給食の提供に努められたい。

全会一致 賛成

産業消防委員会



令和4年度一般会計補正予算 (産業消防委員会所管分)

主な質疑 各支援金の支給要件や見込み件数、支援対象業種の選定理由、周知方法及び申請方法、支給に係るスケジュールなど。

主な意見 (1)各事業の実施に当たっては、対象者に広く支給されるよう、関係機関と連携し効果的な周知を図るとともに、可能な範囲で申請手続の簡略化を図るなど丁寧な対応に努められたい。(2)迅速かつ適正な給付を行うための運営体制の構築を図られたい。(3)庁内及び関係機関と十分に連携しながら、コロナ後の地域経済の活性化を見据えた取組を鋭意推進されたい。

全会一致 賛成

納豆の消費拡大に関する条例



主な質疑 条例制定の目的など。

主な意見 本条例の制定を契機として、今後執行部においては水戸産大豆の地産地消を推進する取組について検討されたい。

賛成多数

総務環境委員会



和解【専決処分】 令和4年度一般会計補正予算(第1号)【専決処分】

主な質疑 元吉田町暴力団事務所の土地及び建物の取得経費の算定根拠、相手方との交渉、土地及び建物の利活用に係る検討状況、和解及び土地・建物の取得に係る諸経費、同様の事案が発生した場合の今後の対応など。

主な意見 (1)本件は、安心、安全なまちを形成するため、暴力団事務所の使用を禁止するとともに、土地と建物を取得したものである。当該物件については、市民に多大な影響を及ぼす殺人事件があったことから、建物は解体し、更地とした上で利活用することとされたい。(2)事件発生以降、多くの周辺住民が不安を抱えていると思われるため、引き続き、地域の安全確保に努められたい。

全会一致 賛成

建設企業委員会



都市計画道路3・3・2号中大野中河内線(松が丘工区) 橋梁上部工製作工(上り線)工事請負契約の締結

主な質疑 橋梁の整備スケジュール、迂回路の周知方法など。

主な意見 (1)工事に当たっては、騒音対策に努めるとともに、隣接する県営住宅の住民のプライバシーにも十分配慮されたい。(2)工事に伴い閉鎖した岡田踏切について、周辺住民が誤って進入することがないように、更なる周知に努められたい。

全会一致 賛成

水戸駅北口エレベーター改築工事請負契約の締結

主な質疑 既存エレベーターと新設エレベーターの仕様、工事概要、バリアフリー化基準に基づく障害者等への配慮、乗降口付近の路面状況など。

主な意見 誰もが使いやすく、安心、安全に利用できるよう、早期の整備に努められたい。

全会一致 賛成

議会日誌

4/8	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 全員協議会 借楽園・千波湖周辺整備等 調査特別委員会	5/26	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 議会運営委員会	6/16	建設企業委員会 総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会
4/14	議会報編集委員会	6/6	本会議	6/20	議会運営委員会
5/10	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会	6/13	本会議	6/21	議会運営委員会 本会議 議会報編集委員会
		6/14	本会議		
		6/15	本会議		
		6/16	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会		

議会を見よう

本市議会では、インターネットでの本会議のライブ配信及び録画配信、常任委員会の録画配信を行っています。

また、常任委員会及び特別委員会の会議記録も公開しておりますので、ぜひご覧ください。



議会中継



委員会会議記録

傍聴のご案内

本市議会では、本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。

各会議の傍聴を希望する方は、下記を参考にお越しください。※マスクの着用等にご協力願います。

	本会議	議会運営委員会、 常任委員会等	特別委員会等
定員	104名 (うち車椅子利用の方は4名)	5名	10名
受付場所	8階(傍聴席入口)	7階(議会議務局)	
手続き	・当日、先着順 ・傍聴券に住所、氏名を記入	・開議予定時刻の40分前～10分前までに受付 (定員を超えたときは抽選) ・委員会傍聴申請書に住所、氏名を記入	

9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
9/4	5 本会議 (提案理由説明) 議案説明会 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	6	7	8	9	10
11	12 本会議 (代表質問)	13 本会議 (代表質問) (議案質疑) (一般質問)	14 本会議 (一般質問)	15 常任委員会	16 常任委員会	17
18	19	20 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	21 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	22 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	23	24
25	26 議会運営委員会	27 議会運営委員会 全員協議会 本会議 (議了)	28	29	30	10/1

※9月6～11、17～19、23～26日は議案調査

編集委員会

委員長 後藤 通子

副委員長 森 正慶

委員

滑川 友理 須田 浩和 土田記代美

佐藤 昭雄 高倉富士男 大津 亮一

渡辺 政明 栗原 文隆 安藏 栄

田口 米蔵

編集後記



水戸市マスコットキャラクター

「みとちゃん」

新型コロナウイルス感染症の影響は依然としてございますが、少しずつ日常が戻りつつあります。こうした中でも、2年以上にわたるコロナ禍で疲弊した市民生活やまちの経済を支えることが求められており、また急激な物価高騰を受け、今定例会では補正予算の審議等を行いました。子どもたちの教育の充実や住民福祉の増進こそが地方自治体の仕事であり、市民が希望を持って暮らせるまちづくりを進めるため、今後も議論を重ねながら真摯に取り組んでまいります。[土田記代美 記]

